

議長記者会見（R3.10.7）

（報告）

お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。
います。

まず、第307回定例会採決結果について、ご報告させていただきます。

知事提出議案46件のうち、議案15件を可決・承認し、継続審査が6件、報告のみが25件でした。

議員発議案については、提出された7件のうち4件を可決し、3件が否決となりました。

議員派遣については、国内派遣1件が可決されました。

次に新型コロナウイルス感染症に対する対応についてです。
県議会では、これまで、様々な感染防止対策を実施してきまし

たが、県の緊急対策パッケージが行われたこと、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が多く都道府県で出されていたという状況に鑑み、議会が主催する各種会議においては、登壇して発言する場合等を含め、原則としてマスクを着用することとしました。

そのため、この会見もマスクをして行っています。マスク着用については、今後の感染状況等を見極めた上、しっかりと対応していきたいと考えています。

私からは、以上です。

(質問)

○記者

議長に就任されて初の定例会ということになりますが、感想をお聞かせください。

○三橋議長

今まで、議員の席から見ていた議長席に実際に座ってみます

と、普段とは違う緊張感があり、その緊張感を維持したままで議場で様々な議論を聞いていました。

初めて議長席に座って感じた緊張感を持ち続けながら、多くの議員の議論を聞いていきたいと考えています。

(質問)

○記者

新型コロナウイルス感染症対策として、登壇時もマスク着用ということで大きな見直しをされていますが、今回の議会で、マスク着用によって不都合があったなど議員から何か意見があったのかという点、また、今後の見通しについて、どのように感じておられるのかという2点を伺います。

(三橋議長)

議場では、アクリル板が設置され、距離も保たれている状況であり、発言ごとに消毒もしていますが、県の緊急対策パッケージが示されたこと等もあり、マスク着用としたものです。

マスク着用についての今後の見通しですが、感染状況等を見極めるとともに、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、緊急

対策パッケージに該当する県の特別の施策が実施されていないこと、入院患者の状況がステージ3を下回るといった一定の条件をクリアできれば、現在は、議場への入場は議席の半数としていますが、実際の議論の流れというものがありますので、やはり、全ての議員が議場で発言を聞くという以前の形に戻していければと考えています。

さらに、今回の登壇時のマスク着用に関して、県のろうあ協会に出向いて説明させていただきましたが、県ろうあ協会の方々との意見交換の中で、聴覚に障害を持たれている方々が口元が見えないということで大変不自由な思いをされているとお聞きしました。その点も含めて、検討させていただきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症に対する対応については、感染状況、ワクチンの接種状況などの様々な状況、また、複数の会派から意見のあった抗原検査の実施について、総合的に勘案しながら、対応していきたいと考えています。

(質問)

○記者

今、お話のありました抗原検査についてですが、実現可能性はあるのでしょうか。

(三橋議長)

公費で行うことは考えていません。抗原検査を行うのであれば、自己負担ということになると考えています。

八戸市では、PCR検査をすぐに行うことができるセンターができると聞いていますが、このようなセンターが県内各地に設置され、検査を簡単に受けることができる状況になれば、議員個人の判断として検査を受ける、また、議会として統一して行う必要があるということであれば、議会運営委員会、各会派代表者会議において、しっかりと検討したいと考えています。